ミカを物理サポートとして採用する基準

ミカは、通常攻撃を多く使う物理アタッカーを補助しながら、チームの立て直しも担当できる支援役です。編成へ入れるときは、単に攻撃速度が上がる点だけを見るのではなく、主力の攻撃モーション、物理ダメージの比率、元素爆発を回せる周期まで確認すると役割が明確になります。

攻撃速度バフを活かせる場面

攻撃速度上昇は、通常攻撃を長く振り続けるキャラクターほど恩恵を感じやすくなります。一方で、重撃やスキル中心の立ち回りでは効果が限定的です。実戦ではミカのスキルを使ったあと、主力へ交代して攻撃時間を確保し、バフの持続中に通常攻撃の手数をまとめる流れが扱いやすいでしょう。

敵が散らばる場所では、追いかける時間が増えるため手数の増加を活かしにくくなります。集敵役や移動を補助できる仲間を合わせると、攻撃速度を実際のダメージへ変換しやすくなります。単体の強敵に対しては攻撃を中断されないよう、シールドや中断耐性も検討してください。

回復量と元素チャージの整え方

ミカの回復は元素爆発が中心なので、回復量だけを伸ばしても必要な場面で爆発を使えなければ安定しません。まずはローテーションごとに元素爆発を発動できる元素チャージ効率を確保し、その後でHPや与える治療効果を調整する順番が実用的です。聖遺物のメイン効果は、時計を元素チャージ効率またはHP、杯をHP、冠を治療効果またはHPとして、編成の粒子供給に合わせて選びます。

西風系武器を使う場合は、武器効果を安定して発動させるための会心率も必要です。サブステータスでは元素チャージ効率、HP、必要量の会心率を優先し、攻撃力は支援と回復を目的にする限り重要度が下がります。

物理編成でのローテーション

基本は、耐性低下を担当する雷元素と氷元素の反応を準備し、サブ火力や防御支援を展開してからミカのスキルと元素爆発を使い、最後に物理アタッカーへ交代します。超電導を維持できる時間と主力の攻撃時間を揃えることで、攻撃速度だけが先に切れる状況を減らせます。

編成を試すときは、を確認しながら、主力が一回のローテーションで何回通常攻撃を完走できるか、ミカの元素爆発が次の周回までに戻るか、回復が過剰になっていないかを記録すると調整しやすくなります。

育成優先度のまとめ

最初に元素チャージ効率を安定させ、次に回復量を確保し、その後でスキルと元素爆発の天賦を伸ばします。物理アタッカーが通常攻撃主体かどうかを確認し、必要に応じてシールド、集敵、超電導役を組み合わせることが、ミカの支援性能を無理なく活かす近道です。

ミカの攻撃速度バフ、元素チャージ、回復量、物理編成のローテーションを確認するManaBuy日本語ガイドの補足メモです。